

専攻科福祉専攻

修了認定の方針

専攻科に1年以上在学し、本学の「建学の精神」「教育理念」「教育目標」に基づいて設定した学科の授業科目を履修し、規定する必要単位を修得した学生は、次の到着目標に達した人材であると認定いたします。

1) 到達目標

専攻科福祉専攻では、教育目標を受ける形で、以下の「5つの到達目標」を定め、1年課程ではありますが介護福祉士資格を取得するため、2年課程と同様の到達目標としています。

- (1) 温かいところと豊かな感性を備え、人への深い関心もち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができる。
- (2) 介護を必要とする人の自立支援と、その人らしい生活を支えることのできる専門的知識と技術を修得する。
- (3) 根拠に基づいた介護過程の展開ができ、質の高い利用者本位のサービスを考えることができる。
- (4) 常に問題意識をもち、介護実践の質的な向上や介護をめぐる課題について探求し、より良い介護を追求できる。
- (5) 介護実習や地域交流等で、多職種との連携・協働や地域に貢献する必要性を理解できる。